

部屋干しのコツ

1 湿気とにおいを防ぐ部屋干しのコツ

室内で衣類を干すとき、気になるのはにおい。

でも雨の日にどうしても干さなければならない時もありますよね。

それでは乾きの悪い洗濯物がどうしてにおうか知っていますか？

においの成分は体から分泌される皮脂やタンパク質が原因なのです。洗濯をしたものの落としきれなかった汚れが、生乾きのまま長時間放置されることでそれが酸化したりすることで生じます。

では、そのようなにおいを防ぐためのコツをいくつか記します。

① 丁寧に洗濯する

まずはにおいの原因をなくすために、洗濯の段階でしっかりと汚れを落とすことが大切です。

▶ 洗濯機の容量を守る

▶ 風呂の残り湯は使用しない

▶ 酵素系漂白剤などを使用して除菌力を高める

② 洗濯物をすばやく乾かす

汚れの酸化や雑菌の繁殖をふせぐためには、洗濯後にすばやく乾かすことも重要です。

▶ 換気を良くする

▶ アイロンを利用して乾かす

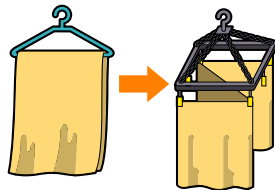
▶ できるだけ広いスペースに広げて干す



ジーンズなどの厚手のものは、裏返して筒状に干すと、ポケットも早く乾きます。



風通しの良い場所に置く方法も効果的です。



バスタオルやシーツなどは、たたんで重ねて干すより、角ハンガーをうまく活用して、風が通りやすいようにします。

③ 洗濯機を清潔に保つ

洗濯機の中は衣服からのゴミ、洗剤カスや水垢、カビなどでいっぱいです。洗濯機の中を意識して清潔に保つことを心掛けましょう。

▶ 汚れた衣服を洗濯機の中に入れておかない

▶ 洗濯後は洗濯機のふたを開けておく

風の強い日には、部屋干ししましょう。

風が強い日に洗濯物を干すと、洗濯物が風にあおられて物干竿ごと落ちてしまう心配があります。竿ストッパーなどで、物干竿が落ちないように工夫して干しましょう。特に風が強い日や外出する時には、外に干さないで室内に干すほうが安心です。

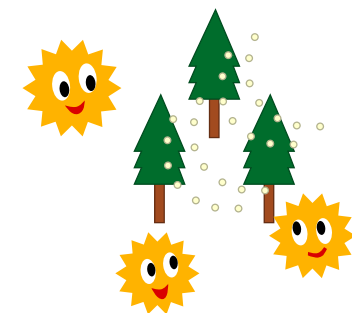
2 花粉症対策としての部屋干し

春先に、多くの人にとって気になるのが花粉症。

春先の外には多くの花粉が浮遊しています。天気がよく、思わず洗濯物を干したいところですが、洗濯物を外に干すことによって花粉を部屋に持ち込むことになってしまうのは耐え難いことです。そこで花粉症対策として部屋干しをお勧めします。

洗濯物を部屋干しすることは、洗濯物を一切外気に触れさせませんので、衣服に付着して家の中まで花粉だらけにしてしまう心配もなくなります。

部屋干しは花粉が室内へ侵入することを防ぐ大きな手立てとなるのです。

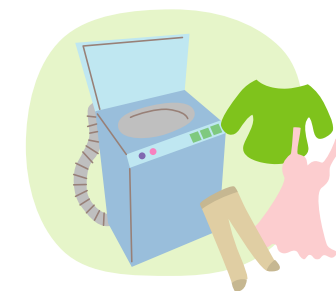


3 洗濯マークで効率的なお洗濯を

普段生活する中で意外と見落とされがちな、衣服の洗濯マーク。これを知らずに何でも洗濯機に放り込んでしまうと、大事な衣服がだいなしになってしまうこともあります。

洗濯マークは、家庭用衣料品品質表示法によって、ほとんどの衣類につけられています。これには衣類に合った洗いか、塩素漂白の可否、アイロンのかけ方、ドライクリーニング、絞り方、干し方などのお手入れ方法がマークで示されています。

主なマークを記載しますので、意味を覚えて効率的なお洗濯上手になりましょう！



洗濯マークの意味

【洗い方】	【ドライクリーニングの可否】	【干し方】	【塩素漂白の可否】
 液温は95℃を限度とした洗濯ができる	 ドライクリーニングができる。溶剤は、パークロルエチレン又は石油系のものを使用する	 つり干しがよい	 塩素系漂白剤による漂白ができる
 液温は40℃を限度とし、洗濯機の弱水流又は弱い手洗いがよい	 ドライクリーニングができる。溶剤は、石油系のものを使用する	 日陰のつり干しがよい	 塩素系漂白剤による漂白はできない
 液温は30℃を限度とし、弱い手洗いがよい。(洗濯機は使用できない)	 ドライクリーニングはできない	 平干し(吊るさずに平らな台などの上に置いて干すこと)がよい	
 水洗いはできない		 日陰の平干しがよい	
 水洗いは中性洗剤を使用すること			